

## 令和5年度における鳥取県への移住者数

県では、各市町村、ふるさと鳥取県定住機構等からの情報を集計し、鳥取県への移住者数について、毎年調査を実施しています。

このたび、令和5年度の移住者数調査の結果を取りまとめましたので、下記のとおり公表します。

### 記

#### 1 本県への移住状況

- 令和5年度の本県への年間移住者は 1,696世帯2,361人（対前年+258人）となり、過去最多だった令和3年度（1,665世帯、2,368人）に迫る高水準となった。
  - 近年はIターン者の割合が増加傾向にあり、令和5年度はIターン者が人数・割合ともに過去最多となった。（なお、Uターン者数も過去3番目に多い数字）
- 本年1月発表の「住みたい田舎ベストランキング」（宝島社『田舎暮らしの本』）や本年6月発表の「住みよさランキング2024」（東洋経済新報社）において、複数の県内自治体が上位にランクインするなど、本県の豊かな自然環境や各自治体における暮らし・子育て支援策が、他県出身者（Iターン者）からも評価されている。
- また、本県への移住相談件数やオーダーメイド型移住体験ツアーの実施件数も増加傾向にあり、本県への移住に対する関心の高まりが窺える。
- 引き続き、移住先としての鳥取県の魅力発信に努めるとともに、本年4月に立ち上げた「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」において若者のUターンや定住に向けた若者目線の施策を実行し、目標である年間移住者3,000人の達成に向け、更なる移住定住の促進に取り組んでいく。

#### 2 移住者数の推移

	R元	R2	R3	R4	R5
上半期	984人	856人	919人	946人	<b>1,002人</b> (上半期過去最多)
下半期	1,185人	1,280人	1,449人	1,157人	<b>1,359人</b>
年間	2,169人	2,136人	2,368人 (過去最多)	2,103人	<b>2,361人</b> (過去2番目)

○目標値…年間移住者数3,000人（「輝く鳥取創造総合戦略」（R6～R10）におけるKPI）

#### 3 Iターン・Uターン別の移住者数、割合

区分	R元	R2	R3	R4	R5
Iターン	974人(48.8%)	1,037人(50.4%)	1,191人(52.2%)	1,027人(51.8%)	<b>1,203人(52.7%)</b> (過去最多)
Uターン	1,022人(51.2%)	1,021人(49.6%)	1,091人(47.8%)	956人(48.2%)	<b>1,079人(47.3%)</b>

(参考:40代以下の人数、割合)

区分	R元	R2	R3	R4	R5
Iターン	805人(49.8%)	817人(50.1%)	964人(55.1%)	634人(52.7%)	944人(56.0%)
Uターン	811人(50.2%)	815人(49.9%)	787人(44.9%)	568人(47.3%)	742人(44.0%)

#### 4 市町村別の移住者数

(単位:人)

市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数
鳥取市	471 (446)	若桜町	25 (16)	琴浦町	190 (170)	伯耆町	37 (36)
米子市	504 (361)	智頭町	31 (17)	北栄町	86 (85)	日南町	33 (24)
倉吉市	277 (295)	八頭町	52 (32)	日吉津村	20 (24)	日野町	29 (26)
境港市	210 (218)	三朝町	67 (37)	大山町	46 (40)	江府町	19 (18)
岩美町	84 (75)	湯梨浜町	96 (100)	南部町	84 (83)	合計	2,361 (2,103)

※括弧内の数字は前年度の移住者数

## 5 移住世帯の属性

### (1) 年代

・40代以下の世帯が全体の約8割(79.1%)を占める。

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
世帯数	629世帯	338世帯	225世帯	136世帯	102世帯	76世帯	1,506世帯
平均世帯員数	1.17人	1.86人	1.63人	1.35人	1.37人	1.32人	1.39人
構成比	41.8%	22.4%	14.9%	9.0%	6.8%	5.0%	100%

※年代不明の世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

### (2) 移住理由

・50代までの各年代で「就職」が最も多いが、30代・40代は「就職」に次いで「結婚・子育て」が多くなっている。

・60代以上は「退職等による帰郷」「田舎暮らし」が最も多くなっている。

	全体		～20代		30代		40代		50代		60代		70代～	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
農林水産業	29	2.1%	11	1.9%	7	2.2%	6	2.9%	4	3.3%	1	1.0%	0	0.0%
企業等への就職	589	41.7%	332	56.0%	130	40.8%	78	37.1%	39	31.7%	9	9.1%	1	1.4%
起業	33	2.3%	2	0.3%	7	2.2%	9	4.3%	7	5.7%	8	8.1%	0	0.0%
結婚・子育て	175	12.4%	69	11.6%	67	21.0%	31	14.8%	6	4.9%	1	1.0%	1	1.4%
介護	43	3.0%	3	0.5%	5	1.6%	11	5.2%	12	9.8%	6	6.1%	6	8.7%
田舎暮らしを志向	113	8.0%	11	1.9%	30	9.4%	21	10.0%	11	8.9%	16	16.2%	24	34.8%
退職・卒業等による帰郷	209	14.8%	103	17.4%	26	8.2%	20	9.5%	17	13.8%	31	31.3%	12	17.4%
その他	222	15.7%	62	10.5%	47	14.7%	34	16.2%	27	22.0%	27	27.3%	25	36.2%
計	1,413	100%	593	100%	319	100%	210	100%	123	100%	99	100%	69	100%

※移住理由が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

### (3) 移住元地域

・移住元地域は、近畿地方、中国地方、関東地方の順に多くなっている。

・近年は、関東(特に東京圏)からの移住が好調。

(単位:世帯)

地域 年度	北海道 東北	関東	うち東京圏※	中部	近畿	中国	四国	九州	国外	合計
R元	36	290	272	91	521	453	46	81	56	1,558
R2	32	333	309	118	484	440	62	73	25	1,542
R3	32	338	319	109	538	474	51	84	34	1,660
R4	48	295	270	98	489	406	37	68	71	1,512
R5	45	350	325	101	499	458	52	79	80	1,664

※東京圏…埼玉・千葉・東京・神奈川

※移住元地域が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。